

特集

静岡・富士市立高校で実施

# 財務局の 「財政教育プログラム」

財務局では、小中学校、高校向けの出前授業として、タブレット等を活用した予算編成シミュレーションなどアクティブ・ラーニングを取り入れた「財政教育プログラム」を実施している。本特集では9月5日に実施された富士市立高校での様子を紹介する。



## 次世代にわたり持続可能な財政の実現に向けて 財政のあり方を主体的に考える機会を提供

### 財政教育プログラムの 4つの特徴とは

財務局では、次世代にわたって財政を持続可能なものにしていくためには、財政のあり方などについて、主体的に考えることが大切であると考え、財政教育の機会や情報を提供している。

その一つが財政教育プログラム。このプログラムは、難しいと感じがちな「日本の財政」に興味を持ってもらうことを目的としており、大きく4つのポイントがある。

1つ目はアクティブ・ラーニングの導入。日本の将来について考えることをテーマとしたグループワークを取り入れ、自身の描く未来やその実現に向けた課題、課題解決のための手段など、子どもたちが意見を出し合いながら議論を行うことにより、主体的・対話的で深い学びを促している。

2つ目は財務局職員との交流ができること。当日は、講師役に加え、グループワークの補助を務めるアドバイザーが派遣される。アドバイザーは、子どもたちからの質問に答え、時には意見を引き出す疑問を投げかけるなど、活発な議論の手助けを行い、子どもたちとの積極的な交流を図る。

3つ目はタブレット端末等ICT機器の活用。グループワークでは、タブレット端末等のICT機器を積極的に活用している。使用する予算編成シミュレーション

ツールは、各予算項目を増減させるとグラフが変化する仕組みとなっており、視覚的に楽しみながら取り組むことができる。

4つ目は学校と財務局との協働。指導案作成の段階から先生方と職員で綿密に連携し、学校と財務局が協働しながら1つのプログラムを作り上げている。プログラムの内容は、先生方の要望などに応じて、様々な形にカスタマイズすることも可能となっている。

財政教育プログラムを実施することで、日本の財政に興味を持ち、社会問題を自分事として捉えられるようになる、などの効果が期待できる。

なお、令和3年度は小、中、高校生向けに140件実施された。

また最近の取組みとして、高校の新学習指導要領において、財政・租税の役割、社会保障の充実・安定化や財政の持続可能性などを主体的に学ぶ新科目「公共」が今年4月から開始されたことに伴い、財政教育と租税教育との連携に注力しており、財政教育プログラムと租税教室の連携授業などを行っている。

### プログラムの効果

1	日本の財政に興味を持つことができる。
2	社会問題を自分事として捉えることができるようになる。
3	受益と負担の両面性（トレード・オフ）の理解を深め、多面的な見方を可能にする。
4	多様な意見を集約するには、民主主義的過程が重要であると認識できる。

### 先生方の声

#### VOICE

意外と質問、反論が多く、こんなに子どもたちが発言するとは思っていなかった。嬉しい誤算。  
(小学校教諭)

#### VOICE

職員が回ってアドバイスなどのサポートをしてくれたおかげで、普段は消極的な生徒も意欲的に個人ワークに取り組んでいたし、グループワークでは活発に話ができている。  
(中学校教諭)

#### VOICE

将来の進路として、大学の法文学部や経済学部を志望する生徒も多く、昨年のプログラム実施後、財政に興味を持ちキャリア（職業）研究する生徒も現れた。  
(高校教諭)

# 東海財務局と静岡税務署が連携し 富士市立高校でプログラムを実施

## 3年生の2クラス 80名の生徒が参加

東海財務局では、富士市立高校の3年生2クラス、80名の生徒を対象とした財政教育プログラムを令和4年9月5日に実施した。

また、この授業は、静岡税務署が実施する租税教室との連携授業として実施した。

まずは、東海財務局財務広報相談室の金山尚人広報相談第二係長から財政についての授業が行われた。医療やゴミ収集など、身近な公共サービスの例を挙げながら、理想的な公共サービスとはどうあるべきかを生徒に考えてもらう内容となった。途中、公共サービスの費用を実感してもらうため、「日本で救急車を1回呼ぶのにかかっている費用はどれくらいか」とのクイズも出題され、参加型の授業となった。

静岡税務署の篠崎あけみ税務広報広聴官からは、税金の種類や仕組みについての授業が行われた。公共サービスを提供するためには、費用がかかることから、国民一人一人がその費用を負担するために税金があるとの説明があった。

また、税の仕組みを作る上では、「公平・中立・簡素」であること、様々な立場の人、様々な世代、受けるサービスの違いに対応した公平な課税を実現する必要があることなどについて解説があった。

さらに、諸外国と比較して日本の税金は高いのか、安いのかも話題として取り上げられた。各国の国民全体の所得に占める税金と社会保障費の負担率を表す国民負担率でみると、欧州と比較すると低い水準であることが示された。

その後再び、金山係長から社会保障と税負担のバランスについて解説があった。現在の日本では、歳出が歳入を上回っており、その差は徐々に広がっているとの紹介があり、その原因の一つとして社会保障費の増大が示された。また日本は、受益と負担のバランスが不均衡となっているが、米国のように「低福祉、低負担」の国、デンマークのように「高福祉、高負担」の国など、世界にはさまざまな国がある。それぞれにメリット・デメリットがあり、正解はないとの解説があった。これを受けて日本の社会保障と税負担のバランスをどうすればいいか、生徒が自ら考えるグループワークに引き継がれた。

### プログラムの基本構成

#### 事前学習

45min



子どもたちの理解を深めるため、可能な範囲で先生方による事前学習の実施をお願いしている。事前学習の時間を確保できない際は、職員の講義でフォローを行う。



#### 職員の講義

30min



職員が財政に関する講義を行う。子どもたちに身近な「公共サービス」や「公共施設」を入口にして、クイズを取り入れながら説明。



#### グループワーク

30min



各グループでタブレット端末等を使用し、子どもたち同士で意見を出し合い、予算案を編成。ワーク中は、アドバイザー役の職員が質問対応やアドバイスを行う。





財政の授業の様子



財政について解説をする金山係長。



熱心にメモを取る生徒も。



税制について解説する篠崎税務広報広聴官。



税制の授業の様子。

### 発表

25min



グループごとに予算案を発表。発表後には他グループからの質問時間を設けており、発表グループは財務大臣になったつもりで答弁を行う。授業中で最も盛り上がるパート。



### しめくくり

5min



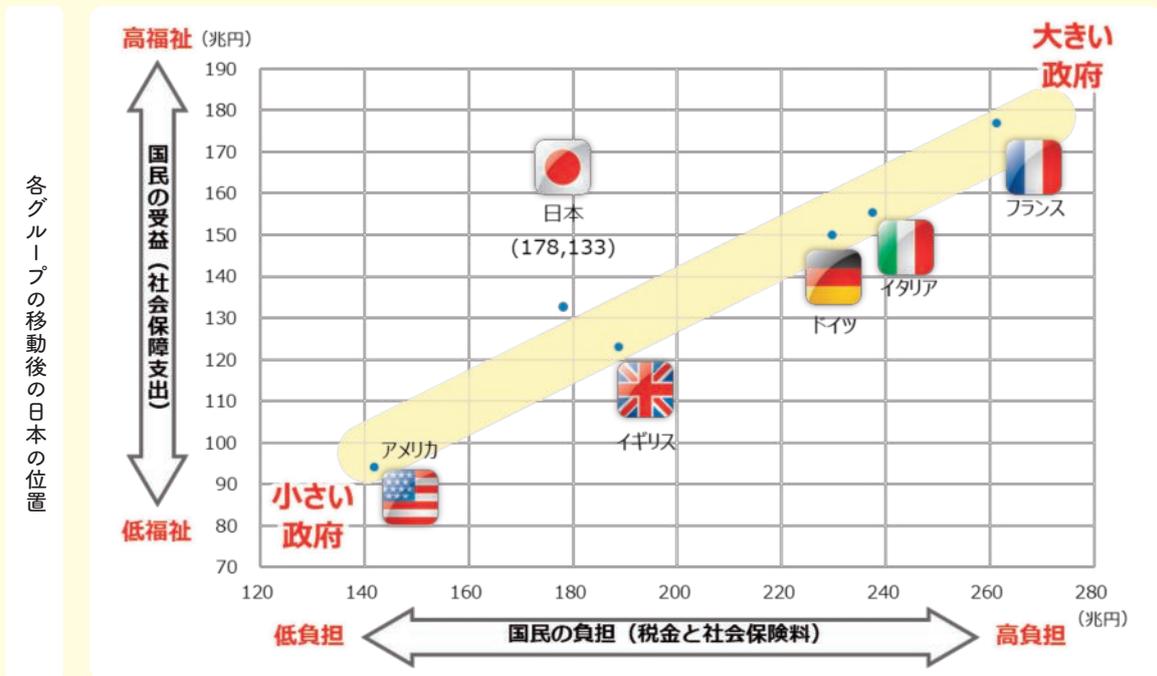
職員による講評を行った後、最後は参政権について触れ、将来の主権者の一員としての自覚を促す。



財政教育プログラムのリーフレット。小学生向け、中学生向け、高校生向けの3種類が用意されている。



国民の受益と負担のバランスの国際比較



# グループワークで「予算のテーマ」を設定。 歳出、歳入プランを検討、発表へ

## 東海財務局の職員が アドバイザーとしてサポート

グループワークでは、今回の授業に参加した3年生2クラスをそれぞれ8班に分けて、予算によって何を実現したいか、まずは、班ごとにテーマを決めるところから始まった。その後、テーマを実現するための歳出、歳入のプランを検討した。2班に1名の割合で東

海財務局の職員がアドバイザーとして付き、生徒の疑問などに答え、議論を活発にするための問いかけを行うなどサポートを行った。グループワークの後は、各班で検討したプランについて発表が行われ、「子育て支援の強化」や「社会保障の増強」といったプランの発表に対し東海財務局の職員がコメントしたり、質問を投げかけたりするなど、財政のあり方をより深く考えさせるやり取りが行われた。

### 財務大臣になって予算を作ろう！

歳 出											班
内 訳										借入金返済	借入金返済 (24兆円)
社会保障	年金	医療	介護	子ども・子育て	生活保護ほか	地方への 交付金	公共事業	防 衛	教 育	そ の 他	
現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

歳 入					予 算 総 額	
所得税	消費税	法人税	その他の税	税以外の 収入	4年度	予 算 案
現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持 (6兆円)	1 0 8 兆円	1 0 8 兆円

予算案では借金の総額が  
**1.3兆円 増えます**

※変更前の予算では、借金の総額は13兆円増えます

**歳 出**

4年度 予算案

**歳 入**

4年度 予算案

### 歳出、歳入のシミュレーション

予算項目を増減させると  
グラフが自動で変化するツール。

5人が1班になって予算のテーマを  
検討。

### グループワークの進め方

- 1
5min

14:00～14:05

**予算案のテーマを決めよう**

話し合ったら、ワークシートの1番に記入して予算の検討を開始してください。
- 2
10min

14:05～14:15

**歳出について検討しよう**

(=テーマを実現するためのお金の使い方を考える)
- 3
10min

14:15～14:25

**歳入について検討しよう**

(=必要なお金の集め方を考える)
- 4
5min

14:25～14:30

**発表の準備をしよう**

ワークシート入力、エクセルの保存、発表の準備。

グループワーク中は財務局のアドバイザーが生徒の疑問に答えて生徒の議論をサポート。



班ごとに検討したことはワークシートに記録していく。

予算編成で生徒が参考にした歳出項目と歳入項目

歳出項目	
<b>社会保障</b> 36兆円	歳出の中で、最も大きい割合を占める支出。年金、医療、介護、生活保護、少子化対策のための費用などが含まれています。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>年金</b> 13兆円 原則65歳以上の高齢者が仕事を引退した後に受け取ることができる「国民年金」支給額の半分以上をまかなっています。</li> <li><b>医療</b> 12兆円 怪我や入院をしても、現役世代が3割、高齢者が1割～2割の自己負担で、病院で治療を受けられるよう支援しています。</li> <li><b>介護</b> 3兆円 介護認定を受ければ、原則1割の自己負担で、介護サービスを受けられるよう支援しています。</li> <li><b>子ども子育て</b> 3兆円 保育所による保育サービスの提供、子育てにおける経済的負担の軽減などにより、子どもを安心して生み、育てることができるよう支援しています。</li> <li><b>生活保護等</b> 5兆円 病気や障がいなどで働けず、生活に困窮している人などが最低限度の生活を送れるよう支援しています。</li> </ul>
<b>地方への交付金</b> 16兆円	全国どこに暮らしていても、警察や消防の活動、ごみ収集などの必要最低限の公共サービスが受けられるよう、地方公共団体に交付しています。
<b>公共事業</b> 6兆円	道路や上下水道、河川の堤防やダムなど、経済活動や国土保全の基盤となる施設を整備します。
<b>防衛</b> 5兆円	戦争を未然に防止するとともに、戦争や災害が起きたときに、日本の国民や領土を守ることができるよう、自衛隊を運営しています。
<b>教育</b> 4兆円	小中学校の教職員の給与を一部負担したり、大学の運営を支援するなど、教育に関する様々な支出をしています。
<b>その他</b> 17兆円	その他、科学技術の研究、食料やエネルギーの安定的な供給、開発途上国の支援など様々なものに支出されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>科学技術振興</b> 1.4兆円 人工衛星を飛ばすためのロケット開発、新しいエネルギーや防災技術の研究をはじめとして、様々な分野の学問研究を支援しています。</li> <li><b>食料安定供給</b> 1.3兆円 国産の農産物を安定的に生産したり、農業の担い手や食料の安全性を確保するために必要な費用を支援しています。</li> <li><b>エネルギー対策</b> 0.9兆円 環境に優しいエネルギーを推進するための技術開発、石油・天然ガス・石炭を安定的に供給するための調査や研究などを行っています。</li> <li><b>国際協力(ODA)</b> 0.5兆円 開発途上国に橋や道路などの整備をしたり、開発途上国の子ども達が医療や教育を受けられるよう資金援助しています。</li> </ul>

※これらの他、2022年度は新型コロナウイルスの感染拡大に柔軟に対応するための費用として、「新型コロナ予備費」を5兆円確保しています。

歳入項目	
<b>所得税</b> 20兆円	働いている人の所得（給料等）から払う税金。所得の金額に応じて税率が異なり、所得の大きい人ほど多くの税金を支払うことになります。
<b>消費税</b> 22兆円	買い物をするときに商品やサービスの代金に乗せて支払う税金で、商品やサービスの代金に一定の率を掛け合わせた金額を支払うものです。
<b>法人税</b> 13兆円	利益を上げている会社が、その利益の金額の大きさに応じて支払う税金です。
<b>その他</b> 10兆円	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>揮発油税</b> 2.1兆円 ガソリンなどを買うときに払う税金です。</li> <li><b>相続税</b> 2.6兆円 財産を相続するときに払う税金です。</li> <li><b>酒税</b> 1.1兆円 お酒を買うときに払う税金です。</li> <li><b>たばこ税</b> 0.9兆円 たばこを買うときに払う税金です。</li> </ul>

グループワークで記入されたワークシートの例

### グループワークシート 【財務大臣になって予算を作ろう！】

2 班

1. 予算案のテーマ：未来の日本をよくするために、特にどんなことに力をいれて社会を変えていくのか、方針を記載してください。  
 (例) “日本00化計画”、“00な日本を目指す!”、“00対策強化!”、“00に優しい社会”など

社会保障を増やそう

2. 各項目の増減：テーマに沿ってグループで話し合った内容（増減により期待される効果・変化など）をシートに書き込みながら進めてください。

**歳出予算**

①-1 社会保障（年金） <input type="checkbox"/> 増額（ ）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（5）% 理由： 医療の発展で年金を年利が増える 年金を減らす必要はない	② 地方への交付金 <input type="checkbox"/> 増額（5）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由：	⑥ その他（科学技術・食料安定供給・エネルギー対策・国際協力） <input type="checkbox"/> 増額（ ）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由：
①-2 社会保障（医療） <input type="checkbox"/> 増額（5）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： コロナで大きな変化がある	③ 公共事業 <input type="checkbox"/> 増額（ ）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由：	
①-3 社会保障（介護） <input type="checkbox"/> 増額（30）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： 長生きする人が増えて、老人ホームに 入る人が増える	④ 教育 <input type="checkbox"/> 増額（30）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： 未来を担う若者のため 教育を充実	
①-4 社会保障（子ども・子育て） <input type="checkbox"/> 増額（30）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： 少子高齢化対策	⑤ 防衛 <input type="checkbox"/> 増額（ ）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（30）% 理由： 日本には必要ない 世界の平和のため	
①-5 社会保障（生活保護など） <input type="checkbox"/> 増額（10）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： 障がい者が多いから		

**歳入予算**

① 所得税 <input type="checkbox"/> 増額（10）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： 社会保障の収入が増えるので 増収に収入増は必要ない
② 消費税 <input type="checkbox"/> 増額（ ）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： 消費税は必要ない 負担が大きすぎる
③ 法人税 <input type="checkbox"/> 増額（10）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： 企業に負担をかける 増収に効果的
④ その他の税（ガソリン・酒・たばこ） <input type="checkbox"/> 増額（10）% <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減額（ ）% 理由： 増収に効果的 負担が少ない

**歳出**

社会保障	年金	医療
5%	現状維持	現状維持
増減なし	増減なし	増減なし

※「社会保障 合計」の増減はタブレットの結果をメモして下さい



プログラム終了後に担当の先生を交えて財務局職員は反省会を実施。次回のプログラム実施に生かしていく。